

心豊かに過ごせる社会に

令和5年度 京都新聞福祉賞・福祉奨励賞

元 警官 障害者自立に力

NPO法人
ENDEAVOR EVOLUTION 理事長

まつうら かずき
松浦 一樹さん

NPO法人の代表として就労継続支援A型事業所を運営する。さまざまな企業と信頼関係を築き、利用者に全国平均の約2倍の給与の支給を実現。生活支援にも力を入れ、障害者の真の自立に向け奮闘している。

元々は警察官だった。事情聴取で訪れた福祉作業所で多くの障害者が一生懸命働く姿を目にし、「頑

張る人が報われる社会を作りたい」と決意し、周囲の反対を押し切って30歳で福祉の世界に飛び込んだ。

作業所や福祉施設で勤務後、独立してNPO法人を設立。施設外就労として企業で訓練後、戦力として直接雇用につながるステップアップ型就労支援システムを導入し、着実に成果を出し続けた。

利用者の中には生い立ちや境遇にハンディを抱えた人も少なくない。自ら「命の電話」と称する携帯電話は常に肌身離さず、公私を問わず相談やトラブルの際にはすぐに駆け付け、親身になって対応する。信念は「福祉は目の前の困った人を助けるためにある」だ。

(55歳、京都市南区)



福祉賞 1氏1団体